

# 数え100歳 百寿のお祝い

満99歳を迎えた阿部榮一さん(◎伊里前)に、12月17日(土)、町から百寿のお祝い金などが贈られました。

阿部さんは、歌津伊里前の出身で、3人の子ども、4人の孫、3人のひ孫に恵まれ、現在は東松島市のケアハウスで生活しています。とても健康で薬の服用もしておらず、新聞を読むことを日課として、毎日のように日記を書いているそうです。また、外出することが大好きで、ケアハウスの外出行事には必ず参加し、お菓子などを小さい袋に分けて、参加した皆さんにプレゼントするそうです。

長生きの秘訣を聞かれると、「嫌なことを耳に入れず、ストレスをためないこと。」と話してくれました。

これからも、ますます元気にお過ごしください。



今回は、とても緊張していましたが、町長から花束を手渡されると「ありがとうございます。」と笑顔を見せてくれました。



「ここでの生活はとても幸せです。南三陸町にも、こんなところがあるといいのに。」とケアハウスでの生活を気に入っているようでした。

## ふっこう 伊里前福幸商店街オープン

12月13日(火)、歌津伊里前地区の中心部に「伊里前福幸商店街」がオープンし、午前10時からオープニングセレモニーが行われました。

商店街の場所は、歌津公民館の駐車場であったところで、中小企業基盤整備機構からユニットハウスの提供を受け、食料品や衣料品、美容室などの7店舗が入っています。

オープン初日となったこの日は、お祝いとして来場者に紅白大福などが振舞われ、大勢の買い物客が訪れました。柘沢の仮設住宅で暮らす及川もよ子さん(◎細浦)は「これまでは町外で買い物をしていましたが、地元で買い物ができて最高です。」と笑顔を見せてくれました。



運営組合長の高橋さんを中心にテープカット

## 自分たちが育てた蚕で まゆ細工に挑戦

12月9日(金)、入谷ひころの里のシルク館で、入谷小学校3年生の児童14人がまゆ細工に挑戦しました。

この体験は、総合的な学習の時間を使って行われたもので、入谷小学校では恒例の行事となっています。2学期から学校の教室で育て始め、さなぎを取り出すところまで手掛けた蚕はりっぱなまゆとなり、子どもたちは、きれいに染め上げられたまゆにハサミで切れ込みを入れ、コサージュやうさぎなどを作っていました。指導にあたった山内登美子さん(◎山の神平)は「いつも子どもたちの豊かな発想にびっくりします。私たちも勉強になります。」と話してくれました。



シルクレディースの皆さんがていねいに教えてくれました

## 難しい日本語からおもしろい日本語に

11月17日(木)から12月8日(木)までの毎週木曜日、ベイサイドアリーナなどを会場に、「MIA日本語ボランティア養成講座(南三陸編)」が開催されました。

この講座は、県と町の国際交流協会が外国人に対して日本語習得のお手伝いをする日本語ボランティアを養成するために開催したもので、初日の17日(木)は11名の町民が参加し、日本語の基礎などを学びました。

参加した中国出身の山内優莉さん(◎林際)は「今日は、日本語の難しいところがどこなのか分かり、すごく勉強になりました。難しい日本語からおもしろい日本語に変わったように思います。」と話してくれました。



参加者は、お互いの交流も深まったようです

## 子どもたちの熱戦に歓声響く 少年少女ビニールバレーボール大会

11月19日(土)、ベイサイドアリーナを会場に「第6回南三陸町少年少女ビニールバレーボール大会」が開催され、町内の小学生が熱戦を繰り広げました。

この日は、男子8チームと女子10チームの約150人の小学生が参加し、男女それぞれが2つのブロックに分かれてリンク戦を行い、決勝トーナメント進出に向けて戦いました。震災の影響により昨年よりも出場チームは減りましたが、どの試合も白熱し、ベンチや客席からは、大きな声援と熱い歓声を送られました。大会の結果は、次のとおりです。

- 【少年の部】優勝 志小バレー、準優勝 戸倉ウォリアーズ、第3位 志小ザ・ビクトリーズ、敢闘賞 やぎサミットめえ〜
- 【少女の部】優勝 志小AKB7、準優勝 志小SAS9、第3位 志小Angelず、敢闘賞 志小笑笑ポップルズ



少年の部優勝 志小バレー



少女の部優勝 志小AKB7

## 命の道「志津川トンネル」着工

11月19日(土)、東日本大震災の復興道路に位置づけられた三陸縦貫自動車道の志津川トンネル工事着工式が入谷地内で行われました。

この日は、あいにくの雨となりましたが、国や県のほか三陸沿岸の首町など約100人が出席し、トンネルの早期開通と一日も早い全線開通を祈願しました。

町長は「今回の震災により国道45号線が寸断され、あらためて三陸道の重要性を認識しました。復興道路という位置づけであるので、このトンネルを期に復興ののろしを発信していきたい。」と話しました。なお、トンネルの開通は、平成28年度以降を見込んでいます。



緞入れをして工事の安全を願いました